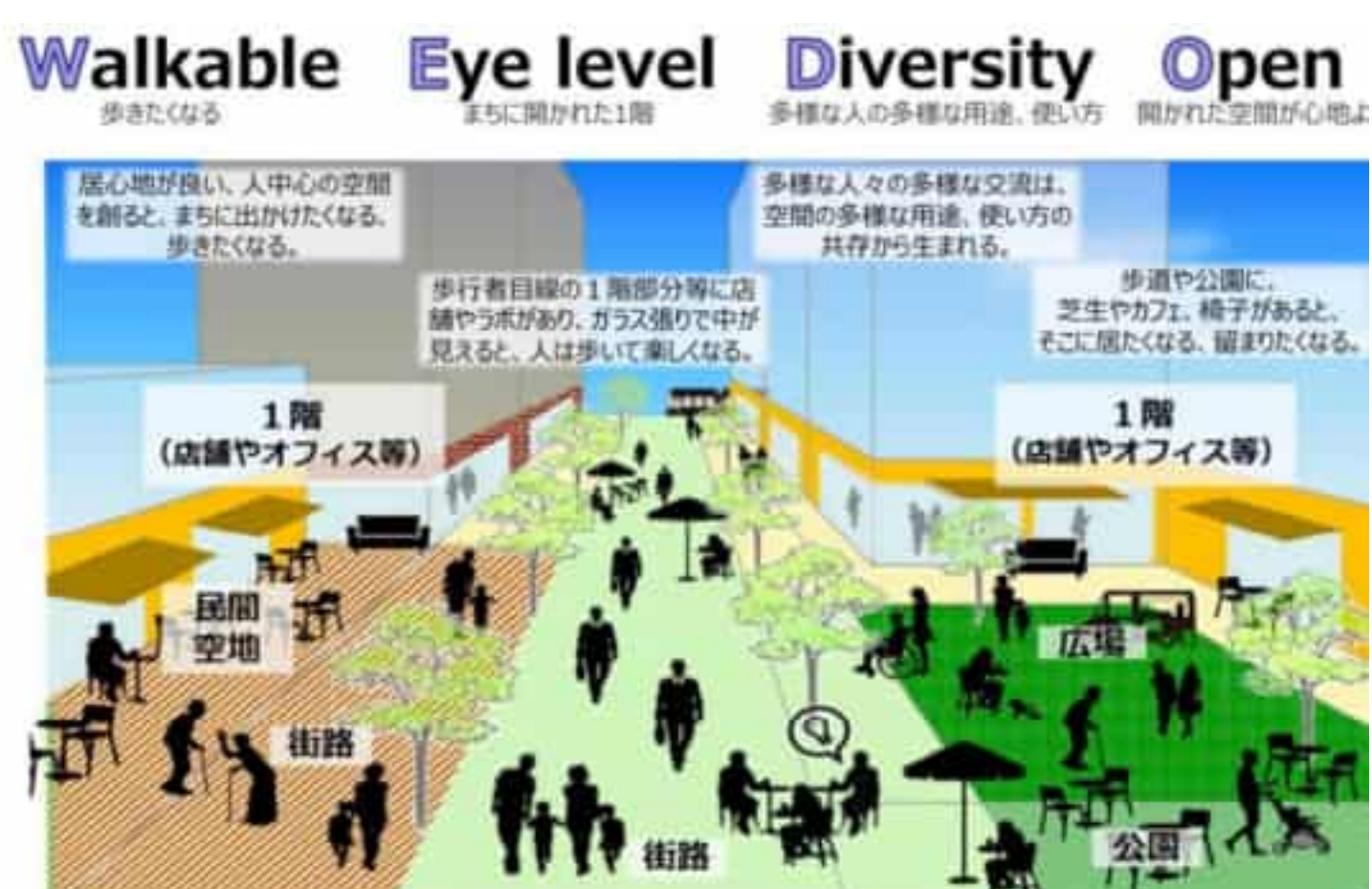


伊勢崎市 中心市街地にぎわい創出拠点整備 基本構想(素案)を公表しました！

伊勢崎市では、コンパクトな街づくりによる持続可能な都市を目指し、その一つとしてウォーカブルな街並みによる中心市街地の形成に取り組んでいます。公共交通結節点である伊勢崎駅南口駅前広場および伊勢崎市保健センターに加え、中心市街地におけるにぎわい創出の第3の核として、伊勢崎織物協同組合が曲輪町地内に所有する土地を活用した拠点整備を目指し、令和7年5月に「伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点整備基本構想(素案)」を策定しました。

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」のイメージ



国土交通省資料をもとに作成

本市のウォーカブルな街並みのイメージ



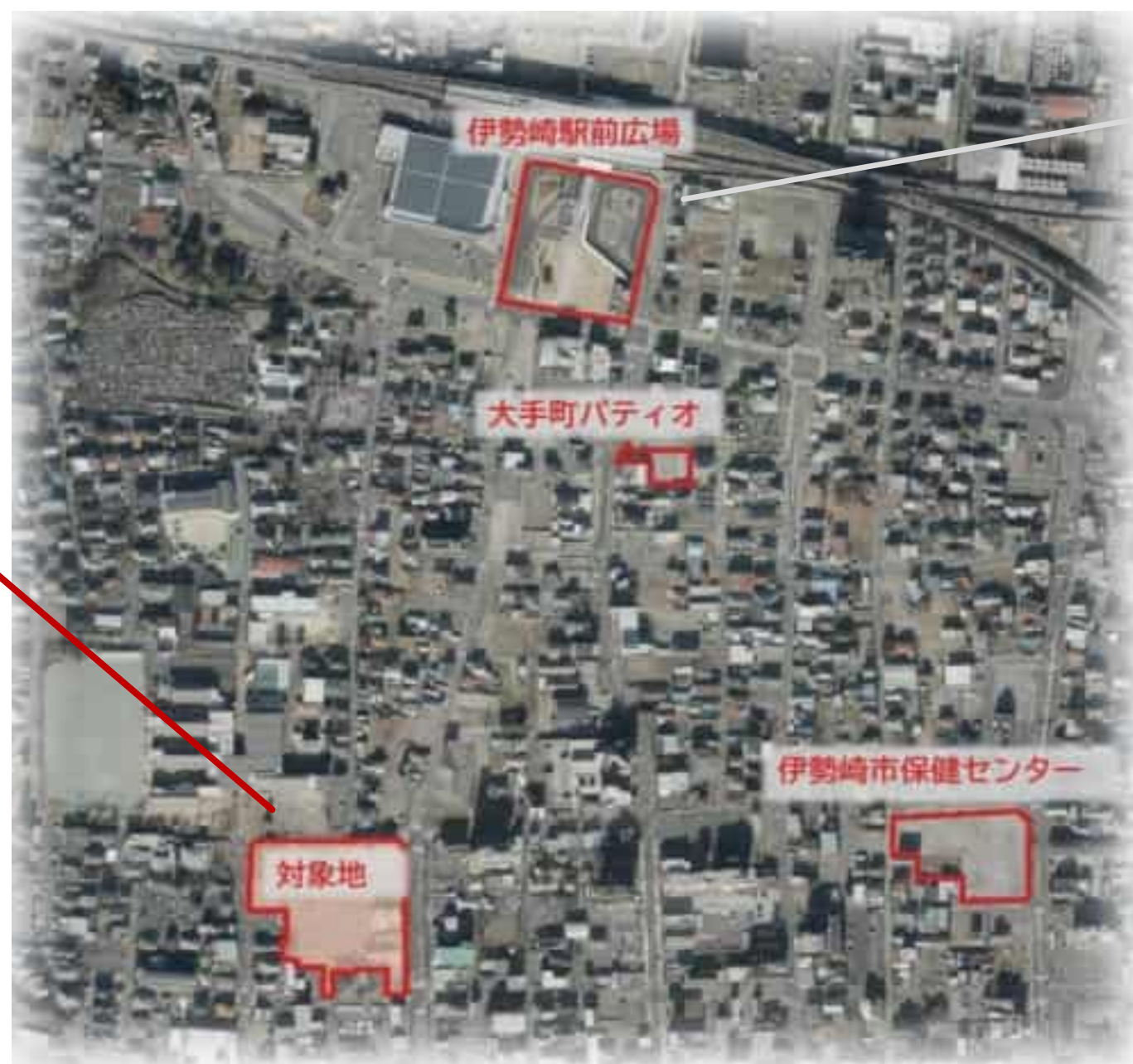
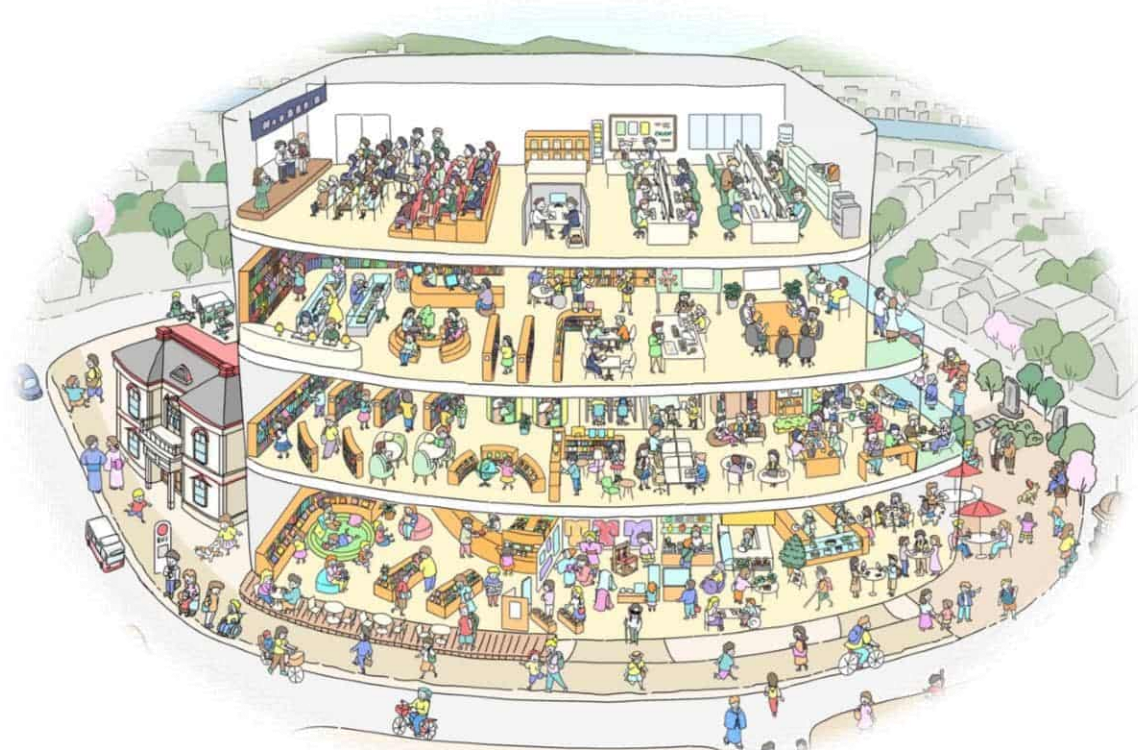
1. 基本構想(素案)策定の背景と目的

伊勢崎駅周辺は本市の中心市街地として古くから発展してきましたが、人口減少や商業衰退などの問題を抱えていることから、伊勢崎駅周辺の総合開発を推進することにより、中心市街地の再生や活性化を図り、便利で快適なまちなかを創造し、居住の促進と定住人口の増加によるにぎわい創出に取り組むことが必要となっています。

こうした状況を踏まえ、本市では、中心市街地におけるにぎわい創出の第3の核として、にぎわい創出拠点整備を目指しています。

「伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点整備基本構想(素案)」は、伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点整備の事業化に当たり、導入する機能等を整理するもので、この素案をもとに令和7年度に有識者及び市民委員で組織する検討委員会等での検討を経て、基本構想としてまとめていくものです。

中心市街地にぎわい創出拠点



伊勢崎駅南口駅前広場



伊勢崎市保健センター



中心市街地の3つの核と中心市街地にぎわい創出拠点

2. 基本構想(素案)策定の前提条件

中心市街地の概要

本市の中心市街地は、平成14年に策定された「伊勢崎市中心市街地活性化基本計画」において、中心商業地及びその周辺にあたる大手町、曲輪町、平和町、本町、緑町、中央町、三光町、喜多町、太田町、柳原町の約137haが位置付けられています。

中心市街地活性化基本計画区域



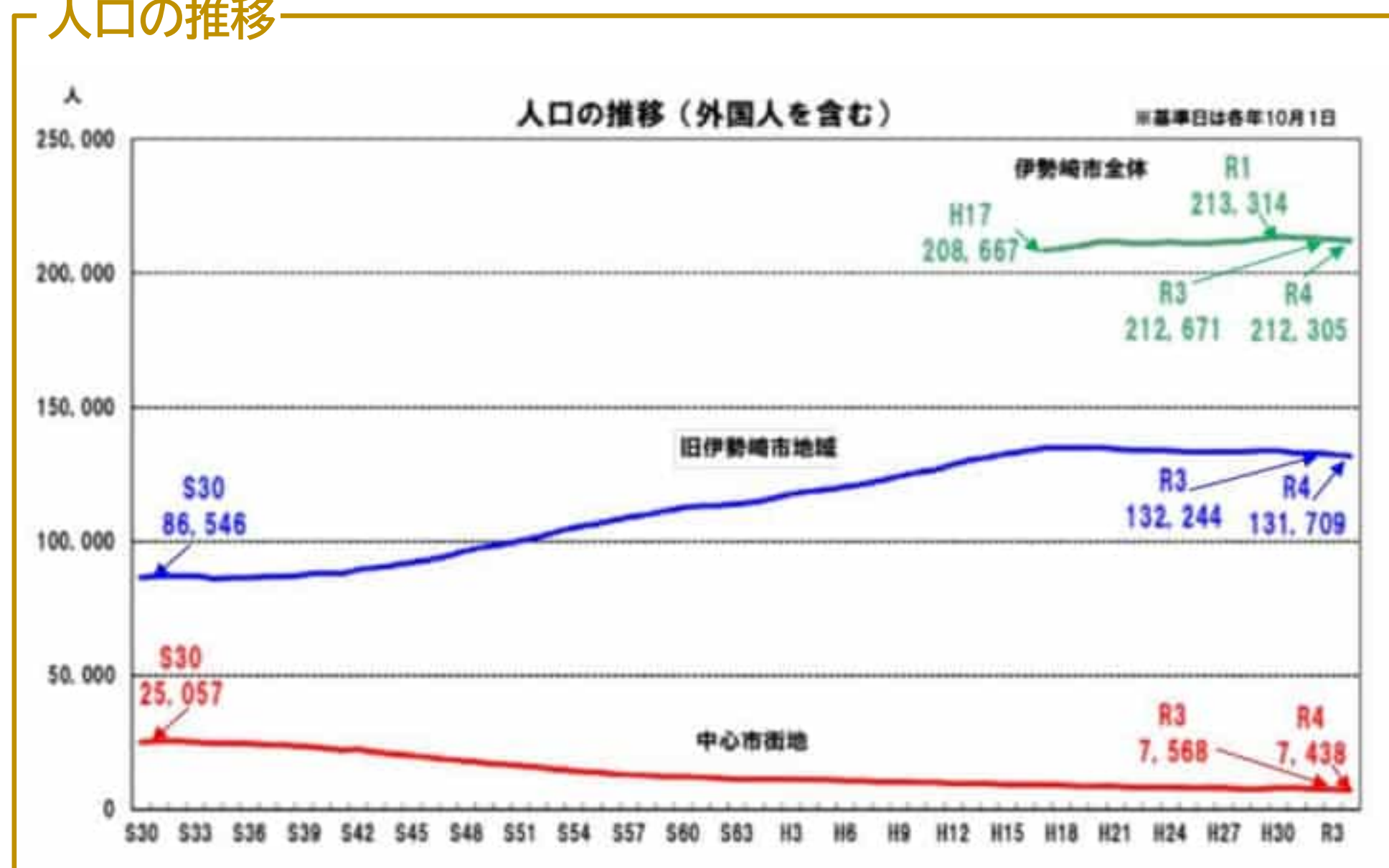
出典：中心市街地活性化基本計画現況報告（令和5年度版）

中心市街地の課題

人口の減少

人口は市全体で横ばいであるのに対し中心市街地では減少し続けており、令和4年には約7,400人と、昭和30年と比較して約3分の1に減少しています。

人口の推移

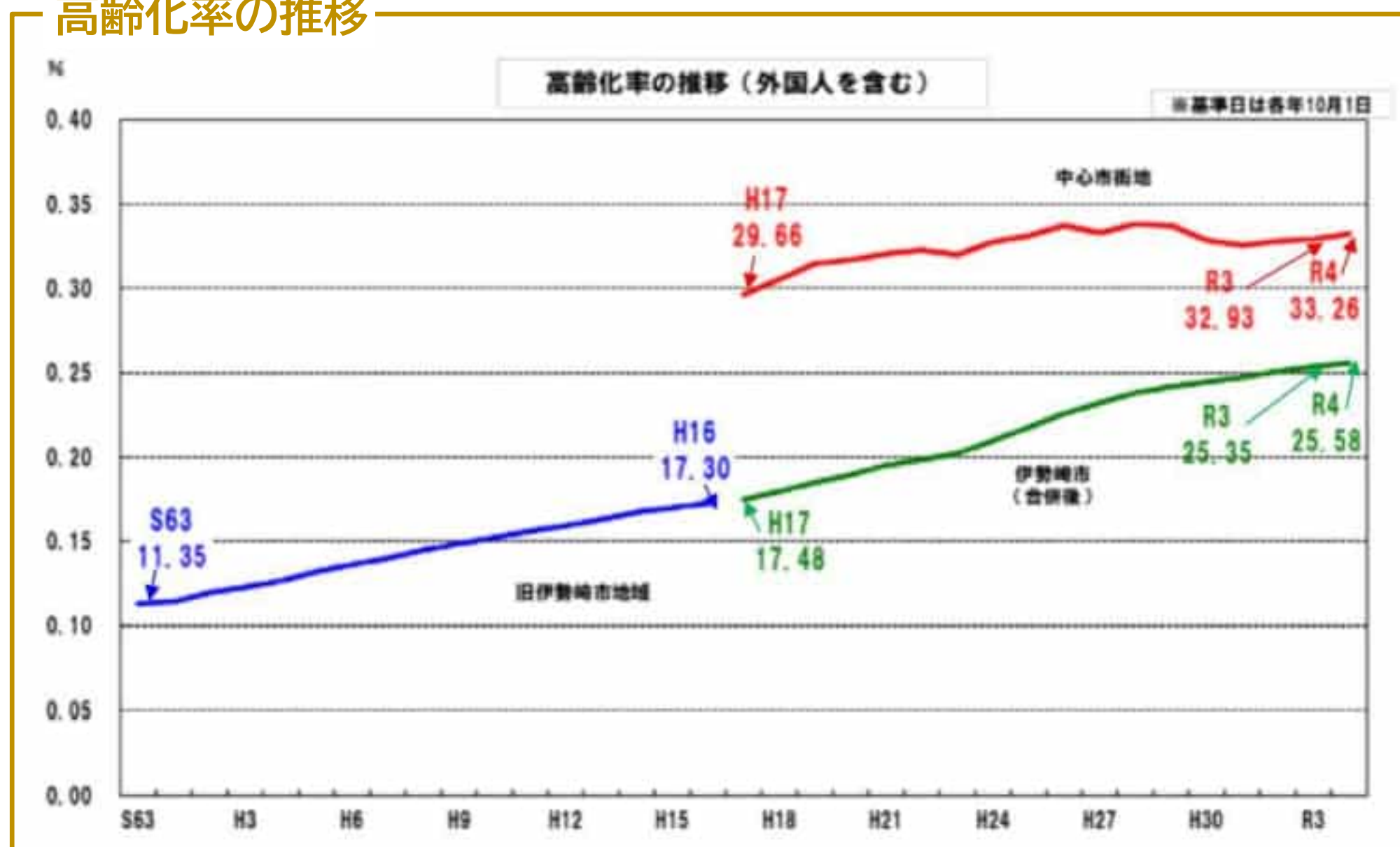


出典：中心市街地活性化基本計画現況報告（令和5年度版）

高齢化の進行

高齢化率についても中心市街地では33.26%と、市全体の25.58%と比較して6.68ポイント高くなっています。

高齢化率の推移



出典：中心市街地活性化基本計画現況報告（令和5年度版）

中心市街地の再生・活性化へ

中心市街地の再生・活性化



3つの核の回遊・連携により、中心市街地の活性化を目指しています

【アンケート】Q1.
3拠点の回遊・連携のために本拠点に必要なと思うものは何ですか？

市内図書館サービス網の現状

本市の図書館は、中央館としての役割を担う伊勢崎市図書館のほか、赤堀図書館、あずま図書館、境図書館の4館と、伊勢崎市図書館のサービスポイントである市民プラザ図書室で構成されています。

4館の立地状況は右図のとおりで、伊勢崎市図書館を除く3館は合併前の市町村の図書館に由来していることから、4館は伊勢崎地区の中心市街地近郊、赤堀・東・境地区のそれぞれにバランスよく配置されています。

伊勢崎市図書館の現状

伊勢崎市図書館は、昭和 52 年の開館以来、様々な年代を対象とした催しや、多くの文化団体の活動拠点となるなど、市民の学術文化の高揚と生涯学習の場として、その機能を発揮してきました。

開館後 50 年程度を経過している中、資料保存・閲覧・展示スペースが手狭となっているほか、市史編さん事業の資料整理・保存のためのスペースも不足しています。また、幅広い市民の利用を促すための授乳室等やおはなし会用スペース、フリースペース等が不足しており、閲覧席・学習席の種類も限られている状況が見られます。

事業候補地の大部分は伊勢崎織物協同組合所有地であり、南東の一部に本市が所有する土地を含みます。

事業候補地の東側では、伊勢崎駅南口と県道 2 号前橋館林線をつなぎ、本市の玄関口である伊勢崎駅へのアクセス道路として都市計画道路 3・4・6 号伊勢崎駅南口線（シンボルロード）の整備が進められています。また、伊勢崎駅南口駅前広場と事業候補地をつなぎ、市指定重要文化財である同聚院（どうじゅいん）の武家門が残る武家門通りについても、今後拡幅が予定されています。

地区

- 伊勢崎
- 赤城
- 東
- 境

対象施設

- 図書館

伊勢崎市図書館

愛知県図書館

三重県図書館

滋賀県図書館

0 1 2 3 4km

※「伊勢崎市図書館課所管施設個別施設計画」対象施設配置状況図をもとに作成

旧5市（前橋・高崎・桐生・伊勢崎・太田）の図書館水準

館 名	全 蔵 書 冊 数 (冊)		人口百人当たりの 冊数 (冊/百人)	開架率
		うち開架冊数		
前橋市	1,015,254	802,769	311.4	79%
前橋	332,657	178,070		
前橋二	153,308	95,410		
前橋分	529,289	529,289		
高崎市	1,116,438	684,020	304.0	61%
高崎	693,031	373,205		
箕郷	45,315	38,262		
群馬	148,009	95,460		
新町	98,158	71,422		
榛名	71,053	54,603		
吉井	60,872	51,068		
桐生市	371,645	277,291	371.5	75%
桐生	299,704	230,839		
新里	71,941	46,452		
伊勢崎市	648,393	364,186	307.9	56%
伊勢崎	319,411	143,573		
赤堀	58,388	46,444		
あずま	133,298	80,170		
境	137,296	93,999		
太田市	716,810	431,570	324.1	60%
太田	334,235	168,978		
尾島	75,428	57,912		
新田	176,731	92,635		
藪塚	79,745	61,374		
太田美	50,671	50,671		

事業候補地の周辺状況

● 現・伊勢崎市図書館

● 北小学校

● 赤石薬舎

● 旧時報鐘樓

下城弥一郎・森村熊蔵の碑

伊勢崎織物協同組合

いせさき明治館

シンボルロード

伊勢崎郵便局

県道2号前橋館林線

至 足利通り

伊勢崎駅南口

武家門通り

0 100m

地図出典：地理院地図

2.基本構想(素案)策定の前提条件

市民や関係者等の意見・ニーズ

伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点整備の検討に当たっては、市民や関係者等の意見を反映するための意見交換やアンケート等を実施しました。

意見交換等の取組み経過

時期	意見交換等の取組み
令和4年7月	○ 図書館協議会要望 伊勢崎市図書館協議会から伊勢崎市へ「伊勢崎市新図書館新館建設要望書」が提出され、中心市街地にぎわい創出拠点への伊勢崎市図書館の移転が要望されました。
令和4年12月	○ 拠点整備に係る関係者・事業者意見 伊勢崎駅前広場、伊勢崎市保健センター、伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点の3つの核により中心市街地の活性化を図っていくため、中心市街地内の事業者との連携強化を図るための意見交換会を開催しました。
令和5年11月	○ 利用者アンケート結果 伊勢崎市図書館で実施した「令和5年度 伊勢崎市図書館利用者アンケート」では、現在の図書館の印象や利用状況等と合わせて、今後の伊勢崎市図書館のサービスや施設等へのニーズについても把握しました。
令和6年1月～5月	○ 市内団体意見 市内の各種活動団体の伊勢崎市図書館に関する意向を把握するためのヒアリングを下記のとおり実施しました。 ・市PTA連合会読書推進委員会（令和6年2月） ・はたちの集い実行委員会（令和6年2月） ・子育て支援ボランティア団体（令和6年3月） ・生涯学習団体（令和6年5月）
令和6年3月	○ 学生意見 「四ツ葉学園中等教育学校の意見発表会」として、本市の未来を担う世代からも伊勢崎市図書館についての意向を把握しました。 ○ 図書館ミーティング参加者意見 「図書館ミーティング ～新しい図書館づくりに向けて～」を開催し、基調講演後に講師と図書館ボランティアによるトークセッション（意見交換会）を行いました。
令和6年6月	○ 市民アンケート結果 本市が実施した「新しい図書館づくりアンケート」では、現在の図書館の好きなところや今後の伊勢崎市図書館のサービスや施設等へのニーズについて把握しました。

「伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点整備に係る意見書」の概要

基本構想案の作成に向けて意見を求めることを目的とし、令和4年度に開催された「伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点整備に係る検討委員会」において、合計7回の議論を経てまとめられた意見書の提言の概要は以下の通りです。意見書では、あらゆる世代の人々が集い、憩い、交流できる「にぎわい拠点」を創出することを基本理念に掲げ、学びと仕事を生み出す創業拠点づくりや、様々な情報を発信する情報発信拠点づくりを目指すとしています。

意見書の提言概要

にぎわい創出拠点について		
理念等	基本理念	中心市街地にあらゆる世代の人々が集い、憩い、交流できる「にぎわい拠点」を創出する
	キーワード	「創業×情報」（SOUGYOU×JYOHOU） ・学びと仕事を生み出す創業拠点づくり ・創業をはじめとした様々な情報を発信する情報発信拠点づくり
	コンセプト	①「ものづくりのまち」として発展したことの起源である伊勢崎銘仙をはじめとした織物産業を後世に伝える施設 ②中心市街地という好立地を生かし、「創業」の拠点として多くの人々が利用しやすい施設 ③本市中心市街地としての魅力度向上と、多くの人々が集い、交流を実感できる施設 ④市民の生活に活力を与え、安心して住み続けるために必要な施設 ⑤中心市街地に関する情報はじめ、多様かつ有効な情報を発信できる施設 ⑥民間活力の導入をすすめ、まちににぎわいをもたらす施設
整備イメージ		民間部分と公共部分を一体的に整備 ※基本構想に関連する主な意見 ・民間と公共では利益に対する考え方も対応も異なることを前提に整備・運用を組み合わせ
民間機能	整備・運営	運営事業者が整備・運営（独立採算） ※基本構想に関連する主な意見 ・起業・創業支援を既に行っている団体・機関の入居
	必須機能	・インキュベーション機能： 起業支援、マッチング事業、コワーキングスペース・チャレンジショップ ・地元企業からの出店を優先
	検討機能	・事業全体の利用促進機能： 飲食・販売等（市内事業者と連携） ・テナントを先付（整備前にテナントを決定） ・群馬県のものセレクトショップや土産物店 ・イベントスペースに終わらないよう配慮

3. 中心市街地にぎわい創出拠点の基本理念等(素案)

基本理念・方針

基本理念

中心市街地にあらゆる世代の人々が集い、憩い、交流できる
「にぎわい拠点」

— 創業×情報(SOUGYOU×JYOHOU)の拠点 —

基本方針



整備コンセプト

整備コンセプト

【アンケート】Q2.
あなたが重視したいコンセプトは何ですか？

- 市民の自主的、協働的、創造的な学びや学び合い、文化の継承や醸成の受け皿となり将来にわたり支えていく施設
- 「ものづくりのまち」の発展を支えた伊勢崎銘仙をはじめとした織物産業を展示や体験を通じて後世に伝える施設
- 中心市街地という立地を活かし、「創業」の拠点として多くの人々にとって利用しやすく、地域の潜在的な「やりたい」が実現できる施設
- 中心市街地の魅力度向上に貢献し、多くの人々が集い、交流し、つながりを実感できる施設
- 市民の生活を支え、生活に活力を与え、安心して住み続けるために必要な施設
- 中心市街地や本市の歴史・文化に関する情報をはじめ、多様かつ有効な情報を発信、共有できる施設
- 民間活力の導入や地域との協働をすすめ、まちににぎわいをもたらす施設

4. 中心市街地にぎわい創出拠点の施設整備方針(素案)

導入機能

中心市街地にぎわい創出拠点では、基本理念(素案)で掲げた中心市街地にあらゆる世代の人々が集い、憩い、交流できる「にぎわい拠点」を実現するため、「伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点整備に係る意見書」の内容や、関係機関との調整結果、既存施設の現状、市民ニーズ等を踏まえ、公共機能としての図書館機能、情報発信機能、交通拠点機能及び広場機能、民間機能としてのインキュベーション機能等に加え、織物産業伝承機能の導入を想定します。

【アンケート】Q3.
導入を想定している機能について、
あなたの意見をお聞かせください。

中心市街地にぎわい創出拠点のイメージ

公共機能

図書館機能

(伊勢崎市図書館の新築移転)

情報発信機能

交通拠点機能

(駐車場・バス)

広場機能

織物産業伝承機能

展示・体験機能

伊勢崎織物関連
資料保存機能

民間機能

創業支援機能

利用促進機能
(飲食・物販)

他市の事例

◆安城市図書館・アンフォーレ(愛知県 安城市)

中心市街地においてまちに役立つ情報とにぎわいを発信する図書館



- ① 公共施設(図書館情報館等)と民間施設(商業施設等)の整備等を一体的に行った複合施設
- ② ビジネス支援サービスの展開(創業支援や創業意識の喚起)
- ③ まちの魅力発見につながるサービスの展開(「安城資料コーナー」等)

画像出典：安城市中心市街地拠点施設アンフォーレウェブサイト
https://anforet.city.anjo.aichi.jp/about_anforet.html

◆塩尻市市民交流センター・えんぱーく(長野県 塩尻市)

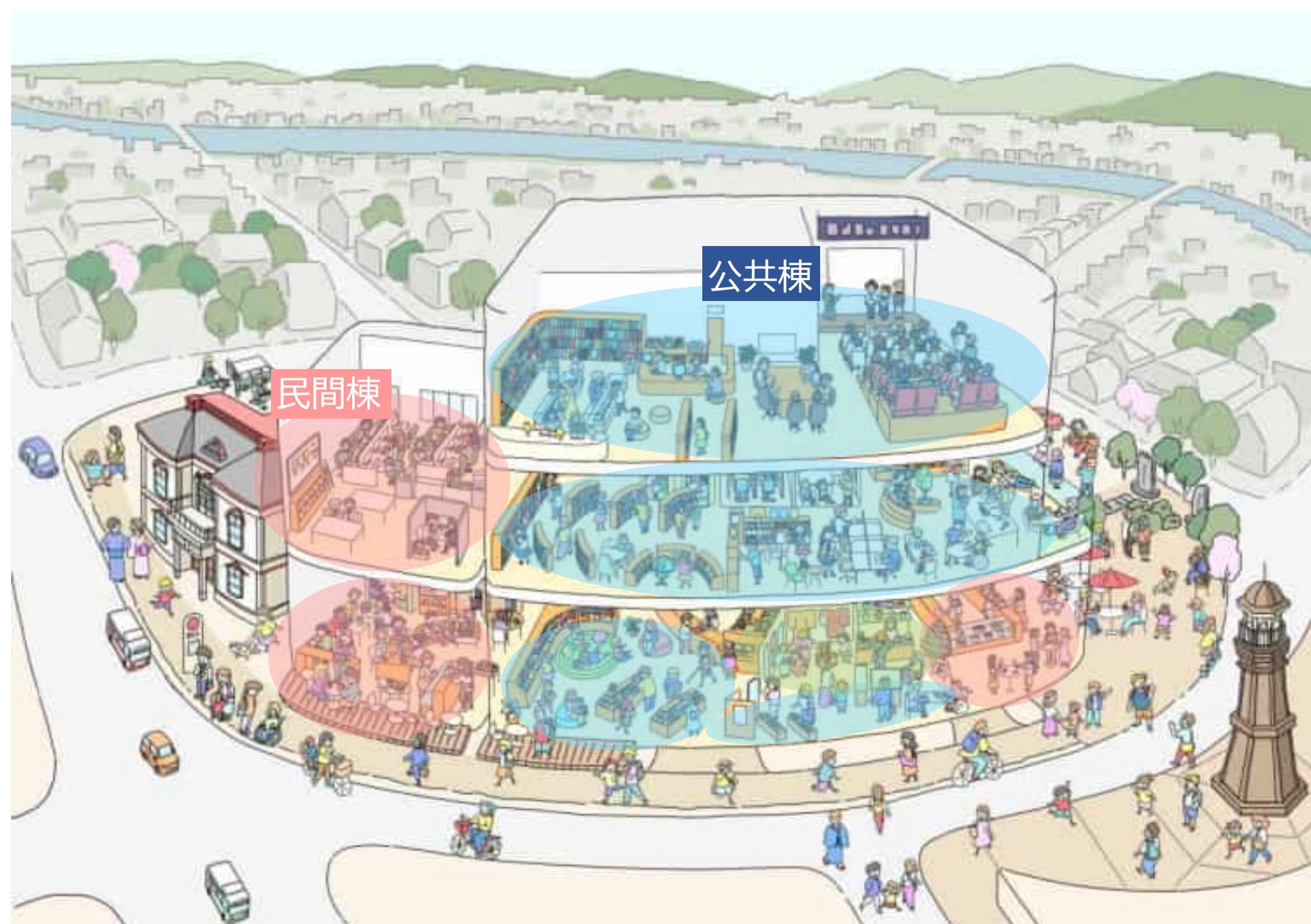
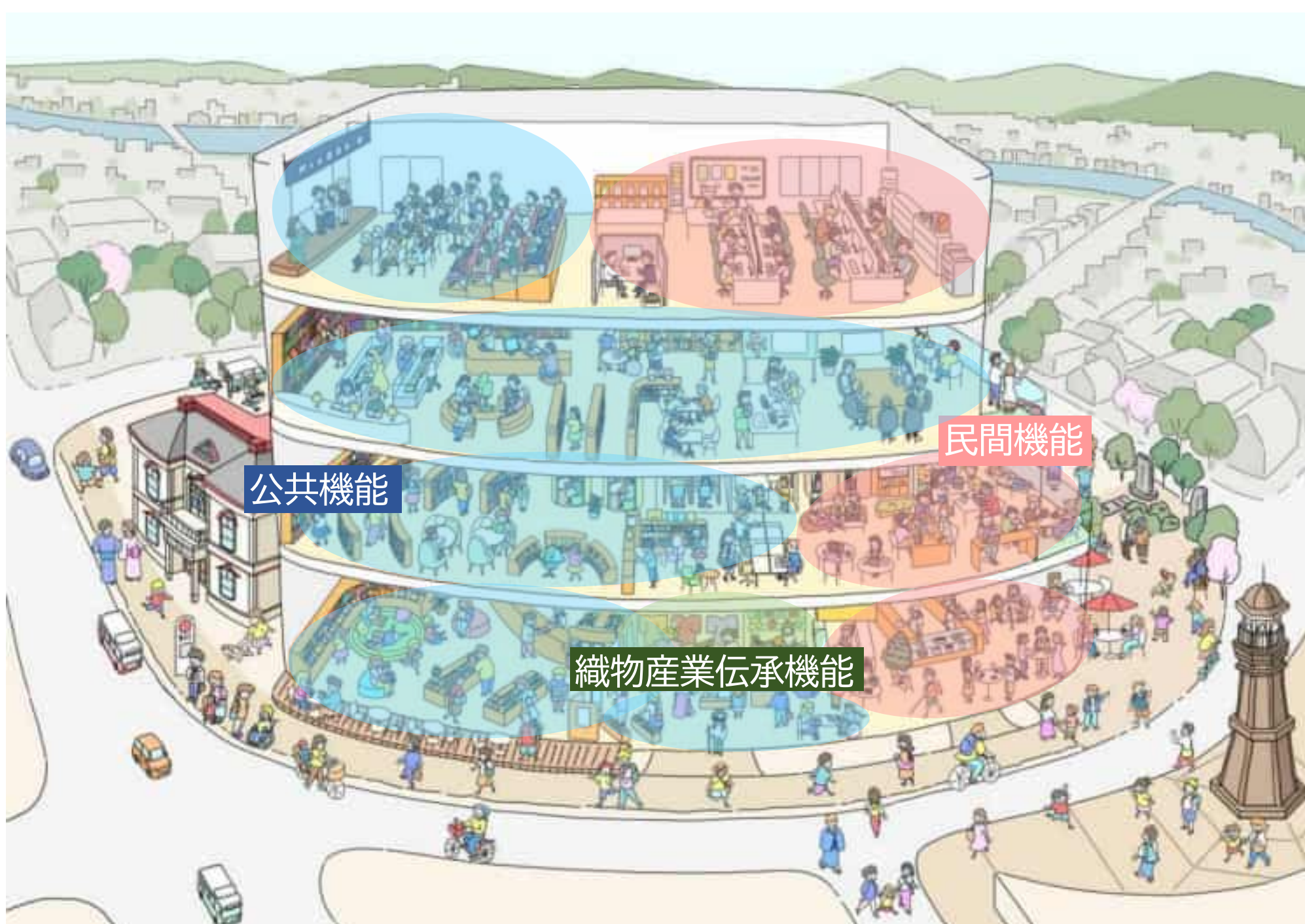
複合施設の基盤として、他機能と密接に連携して情報を発信する図書館



- ① 図書館として併設の他機能(商工会議所・観光課等)とも連携し、ビジネス支援サービスの展開
- ② 市と関わりが深いコーナー等を通じた情報発信(ワイン、短歌、漆器などの関連コレクション)
- ③ 機能融合を意識した施設計画や相乗効果を生み出す融合事業を展開

画像出典：塩尻市立図書館ウェブサイト
<https://www.library-shiojiri.jp/enpark>

機能の導入イメージ



このイメージ図は、オープンハウスの開催に当たり、本素案に示した機能とそれを構成する諸室のイメージを出すために合築と分棟のイメージ図を仮に作成したものです。建物の配置やフロア構成などは将来建物を設計する際に設定していくものとなります。

4. 中心市街地にぎわい創出拠点の施設整備方針(素案)

図書館機能(新伊勢崎市図書館)

基本的方向性

- 曲輪町地内に所在する伊勢崎市図書館を全面移転するものとし、引き続き本市の図書館サービスの中核を担う施設として位置付けます。「読書の街いせさき」の中心として、市民のより充実した読書活動及び生涯学習活動を将来にわたり支えていくため、市民ニーズを踏まえた蔵書や読書・学習環境の充実、幅広い層の利用機会の拡充に資する場や機会の充実を目指します。
- 併せて、中心市街地にぎわい創出拠点内の図書館として、市民及び本市を訪れた人が気軽に立ち寄り、世代を超えた交流や新たな価値創造等を促すための機能についても検討を進めます。

【アンケート】Q4.
新伊勢崎市図書館に導入を検討する機能の中であなたはどの機能に共感しますか？

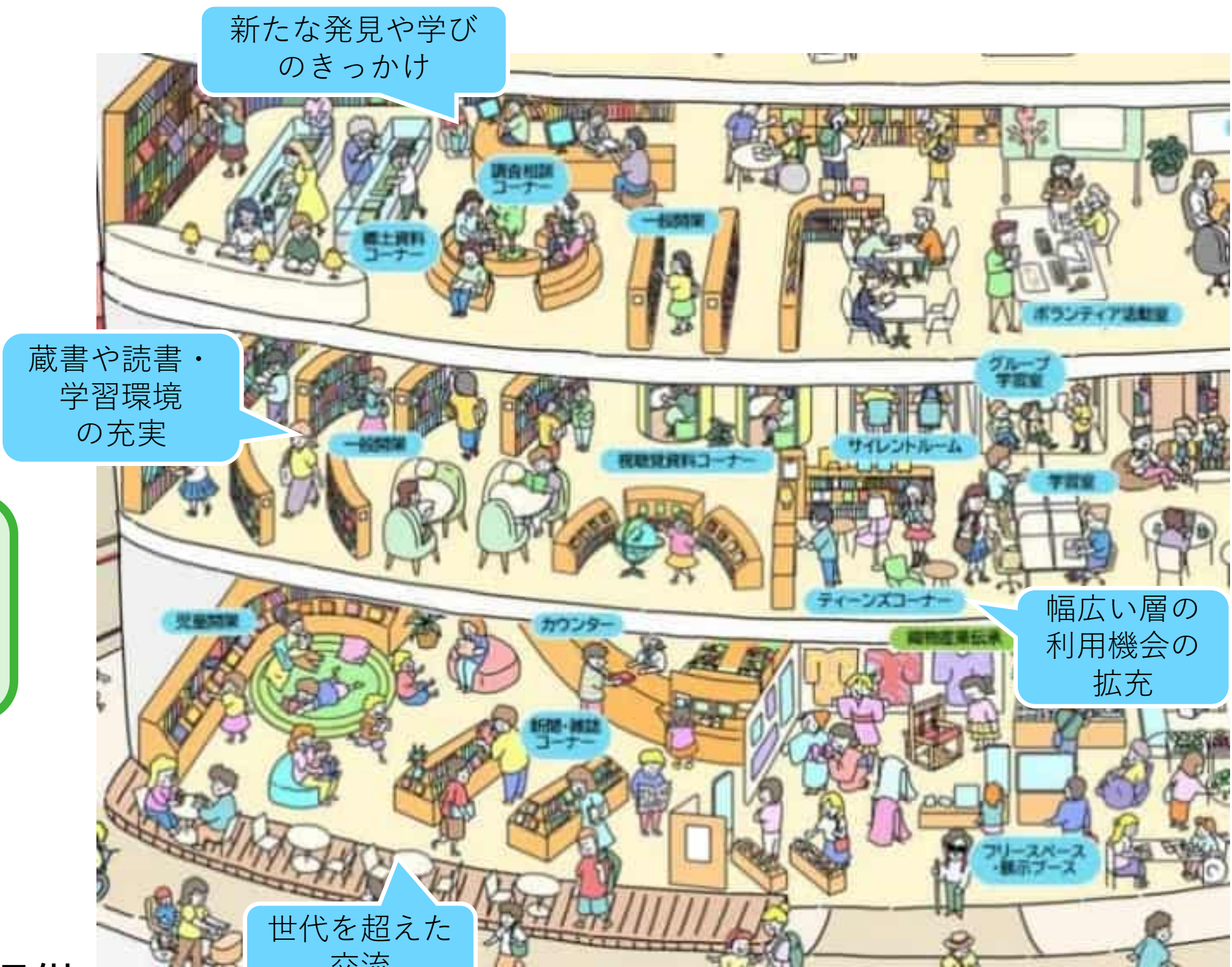
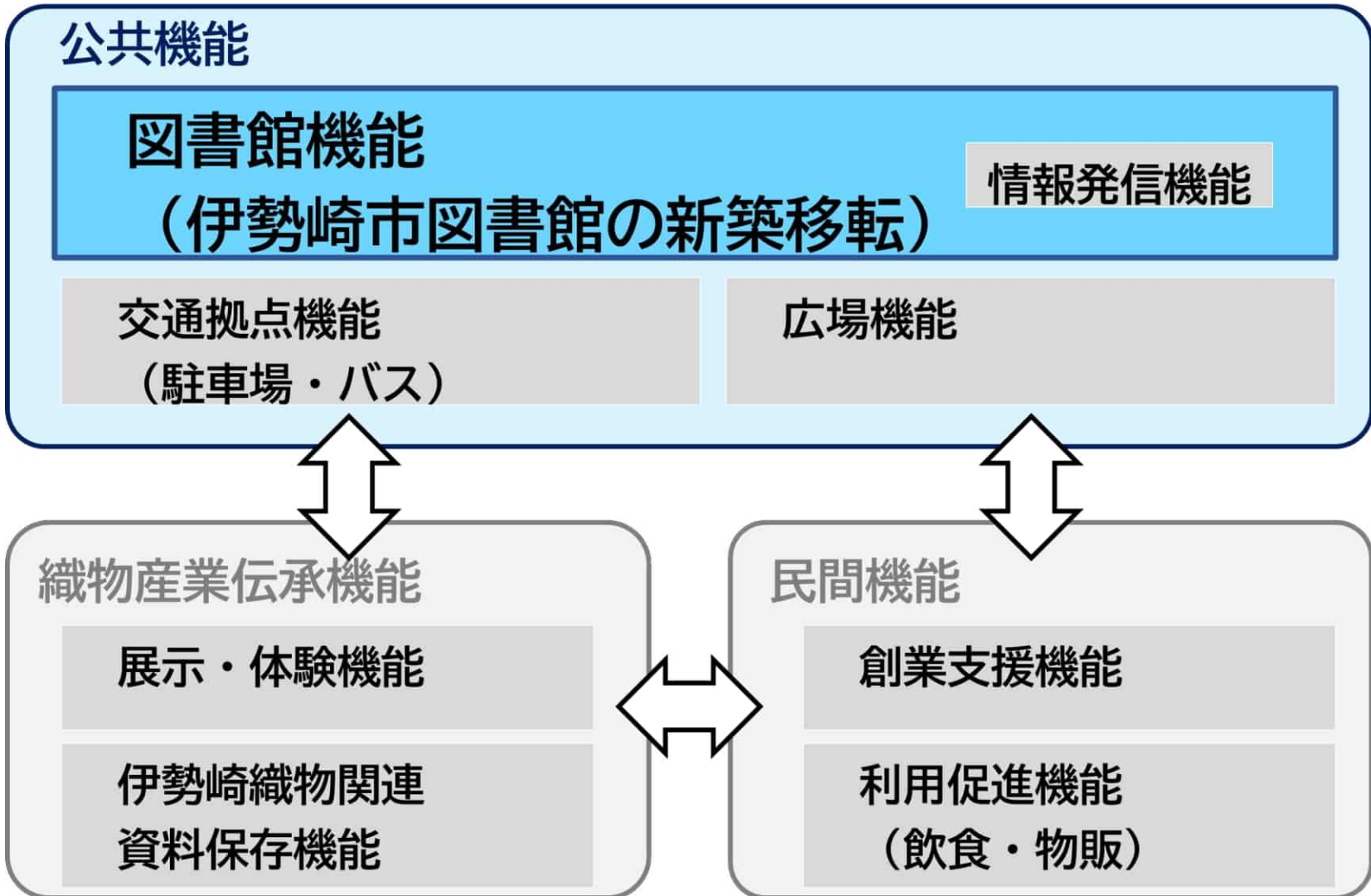
【新伊勢崎市図書館に導入を検討する機能】

- 「読書の街いせさき」の学びを将来にわたり支える環境の提供
- 新たな発見や気づきを通じた多様な学びのきっかけの提供
- 交流や新たな価値創造、地域産業の支援
- 図書館サービスの中核としての他館・他施設の支援する場や機会の充実を目指します。

想定規模

同規模自治体における近年の整備事例なども参考としながら、導入機能等の再検討を進める中で、蔵書数及びその必要面積等を具体的に決定してまいります。

【アンケート】Q6.
どのような図書館なら多くの人が利用すると思いますか？



【アンケート】Q5.
新しい図書館では何ができたらよいと思いますか？

蔵書冊数ごとの想定規模

蔵書冊数	面積 (㎡)	
	想定	
30万冊		2,470
40万冊		3,170
50万冊		3,870
55万冊		4,370

想定される機能・諸室

機能	想定される諸室例	面積(㎡)	
		想定	現状
1. 「読書の街いせさき」の学びを将来にわたり支える環境の提供	学習室・会議室 グループ学習室	910	456
2. 新たな発見や気づきを通じた多様な学びのきっかけの提供	多目的室 展示ブース	410	86
3. 交流や新たな価値創造、地域産業の支援	サイレントルーム ボランティア活動室	450	—
4. 図書館サービスの中核としての他館・他施設の支援	博物資料収蔵庫 絵画収蔵庫	110	28
5. その他機能	市史編さん関連収蔵庫	550	94
計		2,430	664

4. 中心市街地にぎわい創出拠点の施設整備方針(素案)

情報発信機能

【アンケート】Q 7.
あなたは情報発信機能の内容について共感しますか？

- 情報発信機能としては、本市及び中心市街地関連の情報を発信するため、パンフレット及び広告掲示、デジタルサイネージ等を活用して本施設及び中心市街地に関する情報発信を行う情報発信スペースを設けることを想定します。情報発信スペースは図書館機能の一部で兼ねることを想定します。

参考事例写真

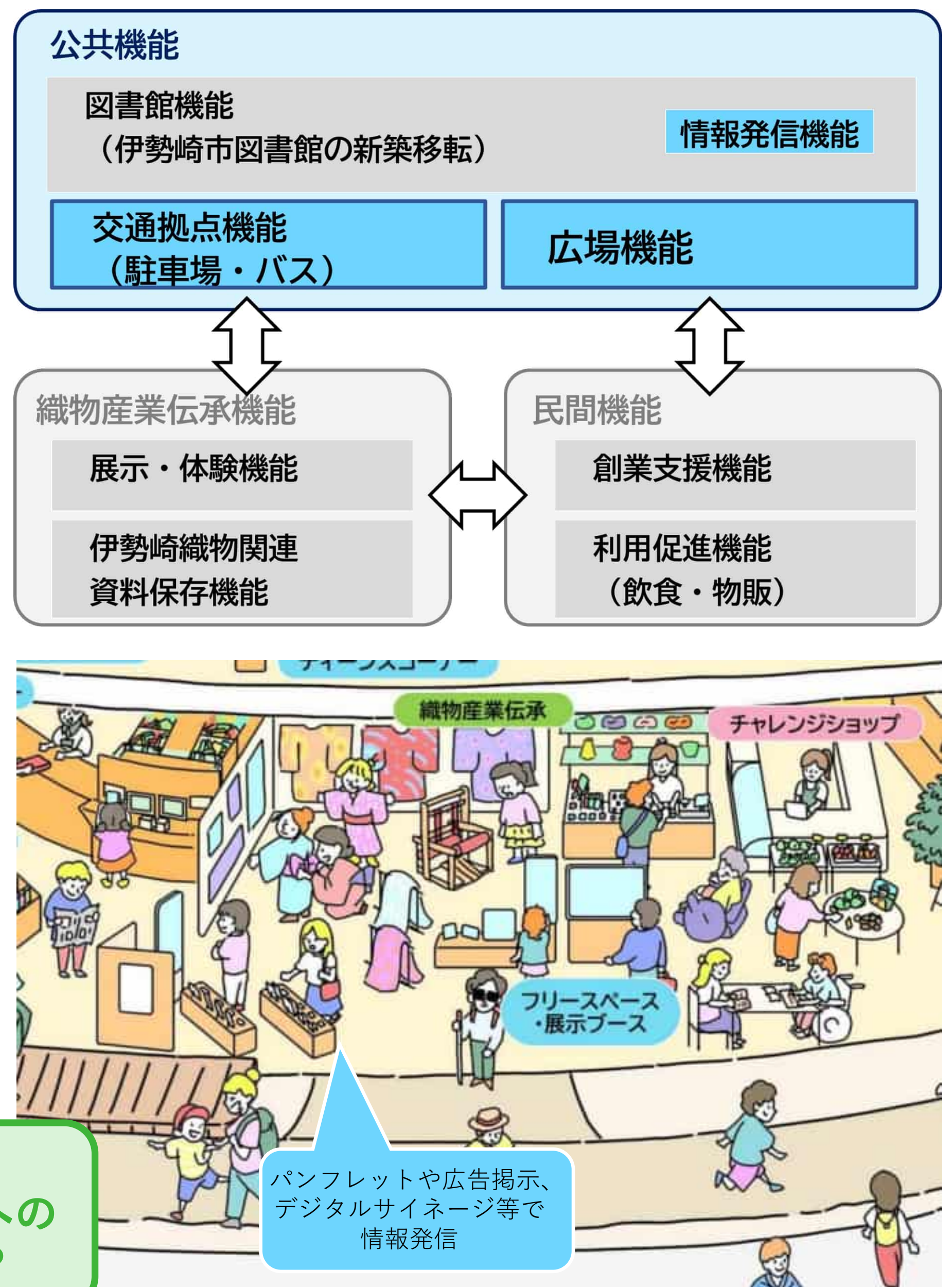
施設名：亀岡市役所 開かれたアトリエ



画像出典：亀岡市ホームページ
<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/12/2417.html>

【概要】
利用者間の交流、イベント、作品展示、コワーキング等の多様な使い方が可能なスペース

利用可能時間：午前9時～午後5時
利用料金：無料
その他：カフェ併設



交通拠点機能

【アンケート】Q 8.
あなたの中心市街地への交通手段は何ですか？

駐車場

- 事業候補地内の施設利用を想定するとともに、中心市街地の3つの核の回遊を促進させる機能についても考慮した設定とすることが必要です。
- いせさき明治館は現状維持を前提とし、情報発信機能、織物産業伝承機能の利用は、図書館機能及びいせさき明治館利用者の立ち寄りが主となると想定します。

バス停

- 施設利用者の利便性向上を図るほか、まちなかの回遊を促す交通拠点として、敷地周辺へのバス停の設置について、関係機関と調整の上、検討します。

【アンケート】Q 9.
あなたは広場機能の内容について共感しますか？

広場機能

- 広場機能は、中心市街地にぎわい創出拠点施設来訪者の利用促進や、事業候補地内の「下城弥一郎・森村熊蔵の碑」や隣接する赤石楽舎の広場との連続性を確保するなど、学びや各種活動の相乗効果を図ります。

下城弥一郎の碑



赤石楽舎



旧時報鐘楼



4. 中心市街地にぎわい創出拠点の施設整備方針(素案)

インキュベーション機能(創業支援機能)

- 中心市街地としての好立地を生かし、図書館機能や情報発信機能など中心市街地の多様な情報を発信する機能と併設することにより、学びと仕事を生み出す「創業×情報」の拠点として、創業支援や起業家育成を行いながら、創業や起業を目指す人々の交流や支援の場を提供します。

インキュベーション機能の構成

諸室名	面積(㎡)	備考
オフィススペース、その他	450	事務、面談、創業支援、倉庫等
コワーキングスペース、創業支援オフィス	200	仕事、ミーティング等で利用できるフリースペースや有料ブース ～50席程度(カウンターテーブル、ソファ等)
チャレンジショップ	30	15㎡×2室
合計	680	—

参考事例写真

施設名：えきまちテラスながはま チャレンジスペース



【概要】
月単位での利用が可能なチャレンジスペース。飲食営業、菓子製造も可能

面積：各約12㎡
貸出単位：月(原則1年以内)
利用料金：基本料金10,000円/月
+売上×10%

画像出典：えきまちテラスながはまホームページ
<https://www.ekimachinagahama.com/challenger/eventspace/engawa/>

施設名：TETTE MAIBARATETTE WORKS

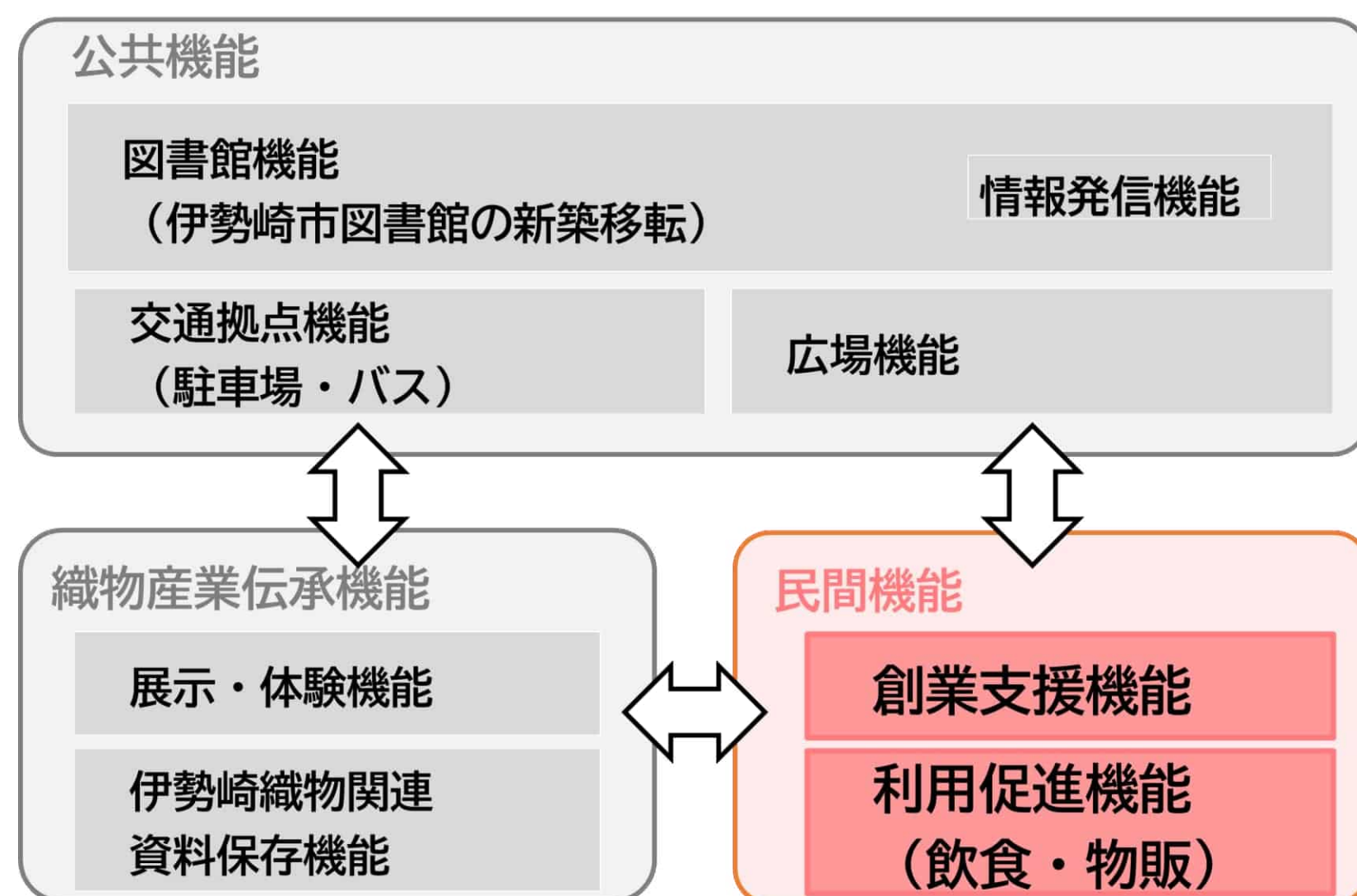


【概要】
仕事や会議、待ち合わせなどに使えるコワーキングスペース。有料のテレワークブースも設置。複合施設内には会議室や300席対応のホールも併設

面積：約190㎡
利用時間：午前8時～午後9時
利用料金：コワーキングスペース
無料、テレワークブース300円/時間

画像出典：TETTE MAIBARA ホームページ <https://hakadoru-maibara.com/tette-maibara/>

【アンケート】Q10.
あなたはインキュベーション機能の内容について共感しますか？



【アンケート】Q11.
あなたはその他機能(利用促進機能)の内容について共感しますか？

その他機能(利用促進機能)

- 中心市街地にぎわい創出拠点の利用促進に資する機能として、飲食・物販機能をはじめとする利用者の利便性を向上させる機能の導入についても検討します。
- 飲食・物販機能は、複合施設内に設ける小規模なカフェや売店・ショップのほか、屋外空間(広場等)の活用についても検討します。

4.中心市街地にぎわい創出拠点の施設整備方針(素案)

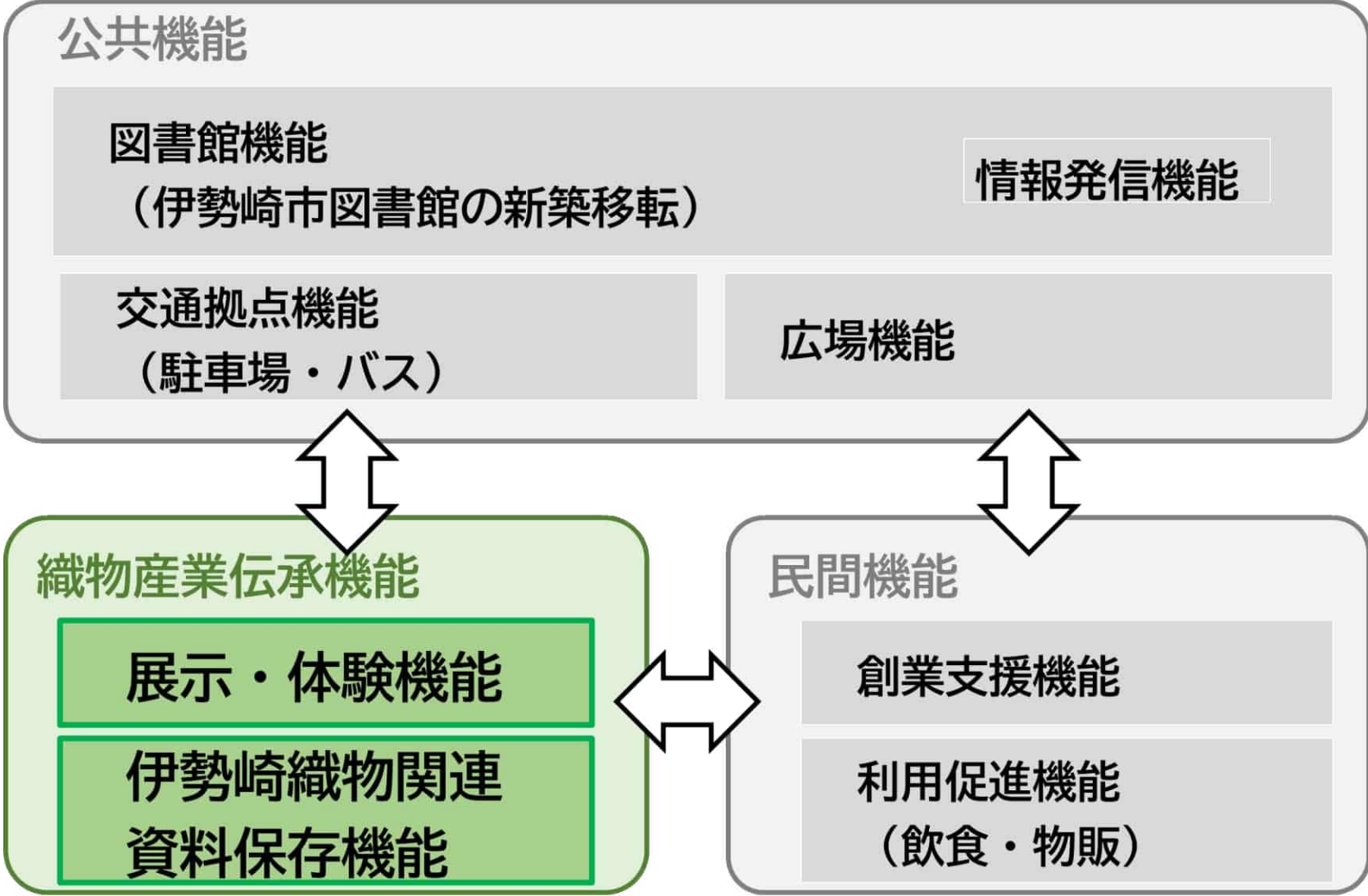
織物産業伝承機能

【アンケート】Q12
あなたは織物産業伝承機能の内容について
共感しますか？

現状

- 伊勢崎織物会館内には伊勢崎織物に関する資料室や保管場、事務室等がありますが、近年は生産量や組合員の減少に伴い施設の利用にも変化が生じています。

伊勢崎織物会館の外観



構成

- 「伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点整備に係る意見書」や伊勢崎織物協同組合の意向を踏まえ、既存の伊勢崎織物協同組合の事務機能や伊勢崎織物関連資料の保存機能を引き継ぐほか、新たに伊勢崎織物の展示・体験機能を付加することを検討します。

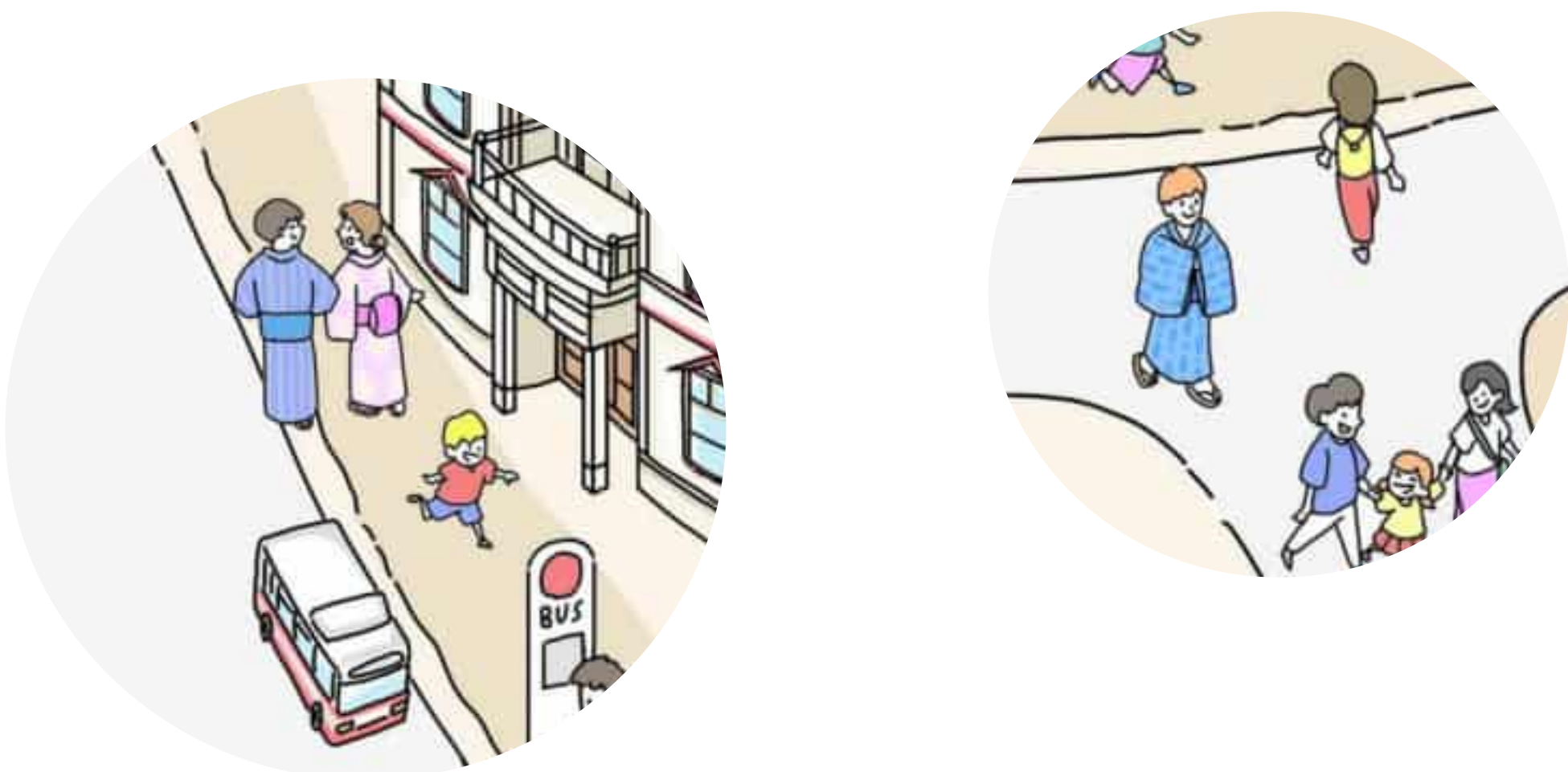
想定される諸室

諸室名	面積(㎡)	備考
事務室	40	現状と同規模
展示・体験・販売スペース	200	展示スペース（主に子ども向けの触れる展示・体験スペース）、販売スペース 公共機能における展示スペース等との共用を検討する
倉庫	20	—
資料保存庫	200	公共機能における博物資料収蔵庫との共用を検討する
合計	460	—



運営主体

- 展示・体験機能や資料保存については、伊勢崎織物協同組合の意向を踏まえ、運営主体について検討を進めます。



5.実現に向けて

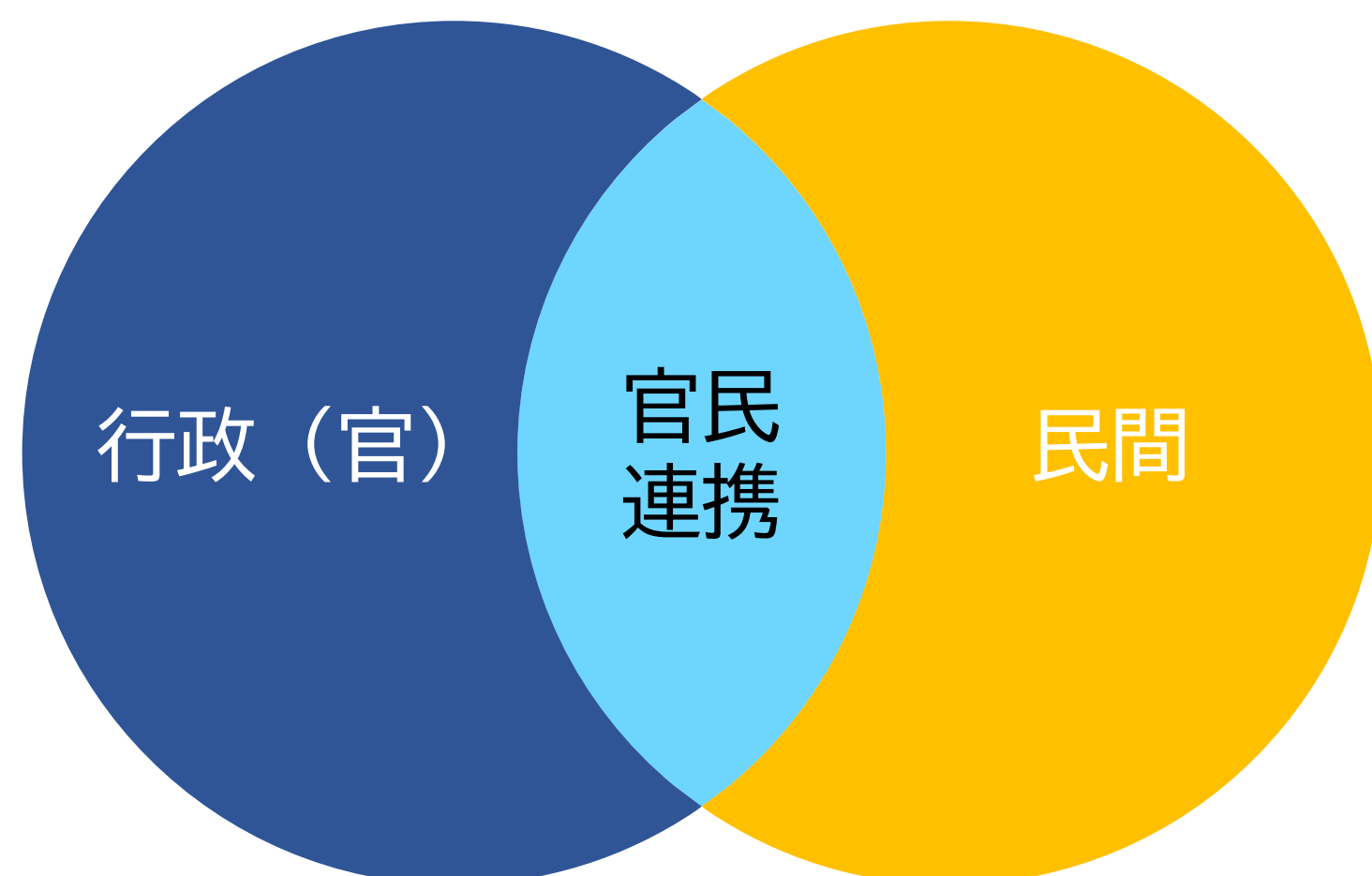
【アンケート】Q13.
実現に向けた取組に対する
あなたの意見をお聞かせく
ださい。

官民連携による取組の推進

中心市街地にぎわい創出拠点は、中心市街地にあらゆる世代の人々が集い、憩い、交流できる複合施設として、公共施設、民間施設及び織物産業伝承施設が互いの連携による相乗効果を発揮し、魅力を創出する施設を目指します。

施設の整備・管理運営については、官民連携による民間の創意工夫やノウハウ等を最大限に活用することで、効果的・効率的に実施する必要があります。

官民連携による取組



市民協働による基本構想の策定に向けて

中心市街地にぎわい創出拠点整備に係る基本構想は、市民との協働による策定に本格的に取り組めます。

｜みんなでつくる中心市街地にぎわい創出拠点検討委員会の設置｜

本素案の基本的な整備方針をもとに、具体的な導入機能や規模等について話し合う委員会としてみんなでつくる中心市街地にぎわい創出拠点検討委員会を設置します。

｜市民ワークショップ｜

さまざまな年代・立場のひとが集まり、新しい拠点へのイメージを共有しながら、自由な意見を出し合い、市民とともに市民の望む施設をつくるための市民ワークショップの取組を検討します。

｜パブリックコメント手続き｜

本素案をもとに、みんなでつくる検討委員会、市民ワークショップ等を踏まえた中心市街地にぎわい創出拠点整備に係る基本構想（案）について広く市民の意見を伺うため、パブリックコメント手続きを実施します。

今後のスケジュール

令和7年度は、本素案に基づき各導入機能の具体的内容について、市民協働の取組を通じて、本素案をブラッシュアップし、伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点整備に係る基本構想をまとめることを予定しています。

今後のスケジュール（案）

2025～2026 (R7～R8)	みんなでつくる中心市街地にぎわい創出拠点検討委員会 市民ワークショップ パブリックコメント 基本構想（素案）アップデート
2026～2027 (R8～R9)	実施方針の公表 事業者選定準備・募集・選定手続き
2027～ (R9～)	各種調査・設計・建設

中心市街地にあらゆる世代の人々が集い、憩い、交流できる「にぎわい拠点」

— 創業×情報(SOUGYOU×JYOUHOU)の拠点 —

